

【参考資料】 平成21年度 実績報告(樺森林づくりプロジェクト共同体)

作成日:平成22年4月30日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	125ha	6ha	4.8%	H22計画:125ha	人工林:施業同意レベル 天然林:長期受委託レベル
いつ	4月~3月	4月~3月	/	年間を通じて森林所有者に対する働きかけを行うが、間伐等本格施業前の春~夏を強化期間とする。森林組合職員及び森林組合任命の森林整備普及員による森林所有者への働きかけを強化する。組合広報誌や総代会資料に掲載してプロジェクトのPRを行う。個別訪問以外に現地説明会を開催して施業集約化を推進する。	
誰が	施業集約化担当: 大西一暢(森林組合)	施業集約化担当: 大西一暢(森林組合)			
どういつ方法で	広報誌への掲載 個別訪問 現地説明会	広報誌への掲載 個別訪問 現地説明会			

植栽	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	15ha	1ha	6.7%	H22計画:20ha	
いつ	10月、3月	10月、3月	/	適期に植え付けを行う。 岐阜中央森林組合 環境林は地域に自生する広葉樹を植栽し、針広混交林化を図る。生産林は伐採跡地にスギ・ヒノキを植栽する。	
誰が	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)			
どういつ方法で	環境林は広葉樹、 生産林はスギ・ヒノキを植栽	環境林は広葉樹、 生産林はスギ・ヒノキを植栽			

下刈・除伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	30ha	5ha	16.7%	H22計画:45ha	
いつ	7月~9月	7月~9月	/	下刈は夏期、除伐は適期に行う。 岐阜中央森林組合 下刈、雪起しは植栽の年から5年間毎年実施する。	
誰が	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)			
どういつ方法で	適期に実施し植栽木の生長を促進	適期に実施し植栽木の生長を促進			

切捨間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	25ha	25ha	100.0%	H22計画:25ha	
いつ	4月~3月	4月~3月	/	年間を通じて切捨間伐を行う。 岐阜中央森林組合 若齢林分の生長を促進するため、保育間伐を積極的に行う。	
誰が	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)	森林整備担当: 大西一暢(森林組合)			
どういつ方法で	既設市道等へ搬出できない箇所を切捨間伐	既設市道等へ搬出できない箇所を切捨間伐			

利用間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	65ha	12ha	18.5%	H22計画:100ha	
いつ	4月~3月	4月~3月	/	できる限り年間を通じて素材生産を行う。 極東森林開発(株) 新規開設した作業道を積極的に活用して利用間伐を行う。	
誰が	素材生産・流通担当: 大西勝利(極東森林開発(株))	素材生産・流通担当: 大西勝利(極東森林開発(株))			
どういつ方法で	既設市道等へ搬出できる箇所は利用間伐	既設市道等へ搬出できる箇所は利用間伐			

主伐(択伐)	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	-	2ha	-	H22計画:-	
いつ	10月、3月	10月、3月	/	適期に伐採を行う。 極東森林開発(株) 森林所有者に対し施業収支を明らかにした森林施業プランを提案し、施業集約化を推進する。	
誰が	素材生産・流通担当: 大西勝利(極東森林開発(株))	素材生産・流通担当: 大西勝利(極東森林開発(株))			
どういつ方法で	長期育成循環施業	長期育成循環施業			

作業道開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	W=3.6m、L=3,500m	W=3.6m、L=376m	10.7%	H22計画:3,500m(基幹作業道)	開設コスト:5,120円/m
	W=3.0m、L=2,500m 計 L=6,000m	W=3.0m、L=0m 計 L=376m	0.0% 6.3%	H22計画:2,500m(簡易管理路)	" :3,727円/m
いつ	4月~3月	4月~3月	/	梅雨、降雪期間を除き、できる限り年間を通じて開設を行う。 極東森林開発株 路網整備と高性能林業機械を組み合わせた素材生産の低コスト化を実現するため、作業道を先行して開設する。	
誰が	路網整備担当: 福島大介(極東森林開発株)	路網整備担当: 福島大介(極東森林開発株)			
どういふ方法で	設計・施工・管理: 極東森林開発株 直営	設計・施工・管理: 極東森林開発株 直営			

素材生産		新規機械の導入(H21)		内容	
新規構築作業システム(機械の組合せ、種類・規格・台数)				伐倒、枝払い:チェンソー → 木寄せ:グラブ(0.45) → 搬出:フォワーダ(3.5t) → 造材:チェンソーまたはプロセッサ(0.45) → 積込:グラブ(0.45) → トラック(8t)	
素材生産チームの人員数(人)	実施前 → 実施後 (H20) (H21)		2チーム(3人/班)	2チーム(3人/班)	
実稼働日数(日)			280	75	
素材生産性(m ³ /人・日)			4.70	4.70	
素材生産費(円/m ³)	H21計画(実績)		車両系:9,500(10,500)円/m ³ 架線系:11,500(10,500)円/m ³		
その他	新規機械はまだ練習段階であり、目に見えて生産性の数字には表れていない。				
年間素材生産量	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
モデル団地内	4,000m ³	2,117m ³	52.9%	H22計画:6,000m ³	森プロ関係のみ(新規導入機械による素材生産)
モデル団地外	—	—	—		
合計	4,000m ³	2,117m ³	52.9%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み			
計画	実績	達成度検証方法	今後の対応
森林施業プランナーの育成	精算時において施業プラン(書式)を用いて森林所有者へ説明及び精算を行う方針。(H21精算未実施)	施業プランの活用(人数)	H20、21の精算を早急に行う。
プロジェクトの組合員、一般市民に対する周知	・総会資料への掲載 ・山県市有線テレビで森プロのPR 組合員への個別聞き取りで森プロの周知が図られていることを確認できた。	総会時に組合員へ個別聞き取り等(回数)	組合広報誌や総会資料への掲載、モデル林看板を設置して引き続き周知を行う
プロジェクトの円滑な実施(運営委員会の開催)	運営委員会等の開催(5回)	運営委員会等の開催(回数)	プロジェクトの進捗状況や問題点等を話し合う運営委員会等を定期的に開催する。
林業関係者及び他業種からも幅広い人材交流を図るとともに、森プロI期生として研修・視察の受け入れに積極的に対応	<研修・視察の主な実績> ◆建設業関係 ・ひだ林業・建設業森づくり協議会 ・いび森林資源活用センター協議会 ◆その他 ・林野庁、JAPICなど。	研修・視察受入実績(回数)	他の森プロと協調して技術向上を図るための合同研修会の開催(他の研修会へ参加)
作業道管理手法の仕組み構築(森林組合での管理、協力金の徴収)	運営委員会で決定した協力金の徴収金額について森林所有者へ説明し徴収する方針。(H21未実施)	森林所有者への説明(人数)	森林所有者への説明、協力金の徴収(H22内に実施)
未整備森林の整備	未整備人工林の間伐(6ha)	未整備人工林の間伐面積	リハビリ施業の実施林分(試験地)の調査を行う
~森林再生への挑戦~ 椿森林づくりプロジェクト見学ツアーの実施	H20に実施済み	H20のツアー参加者に対してアンケート調査を実施済み	実施済み(特になし)
森プロスタッフの技術向上を図るための研修会の開催	H21は実績なし	研修実績(回数)	他の森プロと協調して技術向上を図るための合同研修会の開催(他の研修会へ参加)